

受付は終了しました。

分析研究課題の募集：JGSS-2009 ライフコース調査

受付期間：2011年3月17日～2012年12月まで、毎月25日締切

1. 募集の目的

JGSS 研究センターでは、社会科学諸分野の研究者が温めている研究課題を募集し、それぞれの研究課題を集約した全国調査および国際比較調査を実施しています。今回募集するのは、2009年1～3月に実施したJGSS-2009 ライフコース調査（略称、JGSS-2009LCS）の分析に関する研究課題です。

本研究センターでは分析を公募することにより、調査データの活用を促進し、実証的な社会研究の発展を目指しています。優れた分析案をご提案いただければ、信頼性の高い調査データを一般公開以前に利用していただけるほか、研究に対する支援も行います。ふるってご応募ください。

2. 調査の概要

- 調査名：JGSS-2009 ライフコース調査（JGSS-2009LCS）
- 実施時期：2009年1～3月
- 調査方法：面接法と留置法の併用（1人の調査対象者に面接調査と留置調査の両方に回答してもらう形式）
- 調査対象：日本全国に在住の28歳～42歳の男女から6,000人を層化二段抽出
- 有効回答数（回収率）：2,727（51.1%）

3. 募集内容

ホームページで公開されている調査票等の資料をもとに、JGSS-2009LCSの具体的な分析研究計画をご提案ください。採択された場合には、一般公開準備中にデータで分析を始めていただきます。

JGSS-2009LCS に関してすでに以下の研究課題が採択され、研究論文集にて研究成果が公開されています。これらと重複の大きい課題は採択できませんので、ご注意ください。

■既存の研究課題

課題名	主に分析する設問
学校歴と初期キャリアのコーホート間比較	職歴、学校歴
職業経歴と家族イベントの動態的分析	職歴、結婚歴、配偶者情報、子ども情報
教育期待・教育選択に関する合理的選択理論の実証	[留]Q34
若年世代における職業キャリアと仕事への取り組み	[面]問 30-1～30-2、[留]Q22
若年層の職業キャリア形成における職業資格の役割	[面]問 32-1～32-6
IT 社会における社会関係資本	[留]Q4-1～Q7
教育から職業へのトランジションに関する研究	[留]Q23-1～Q23-3
非正規被雇用者の社会経済的地位の測定、および職業能力開発のニーズの分析について	[留]Q21、Q23-1～Q23-3
非正規雇用者における教育と職業のマッチング	[留]Q21、Q23-1～Q23-3
ワークライフバランスに関する研究	[留]Q24、Q28、Q33
職業経験が賃金に与える影響に関する実証分析	[面]問 27、問 64-2
若年層の正規/非正規労働の地位と離転職傾向の関係	職歴、従業上の地位
学歴の地位形成効果の再検討	職歴、学校歴、父職
大学時代のクラブ活動経験と初期キャリア	職歴、[留]Q46-1～46-4

■JGSS 研究論文集で既に発表された JGSS-2009LCS の研究成果

論文タイトル	論文集の No
従業上の地位の変化と職業資格との関連	第 11 号
JGSS2009-LCS データに基づく高等教育就学の規定要因に関する考察	第 11 号
JGSS-2009 ライフコース調査を用いた職種経験と所得に関する分析	第 11 号
戦後日本型ライフコースの変容	第 10 号
職業経歴と結婚イベント	第 10 号
JGSS-2009 ライフコース調査にみる高等教育進学行動の分析	第 10 号
若年層の職業能力開発に関する意識	第 10 号
職業能力の獲得パターンに関する基礎的分析	第 10 号
JGSS-2009 ライフコース調査にみる仕事への取りくみ	第 10 号
子育ての悩みの類型	第 10 号
ライフコース初～中期における社会的ネットワークと精神的健康	第 10 号
ライフコースの多様性をとらえる	第 9 号

2011 年 3 月時点

4. 応募資格

大学その他の研究機関の研究者、または大学院生（分野は問いません）

5. 応募方法

応募用紙に、氏名等、研究課題、想定する分析のモデル、研究に関連する参照文献、JGSS データの利用経験、これまでの社会調査の経験を明記して、下記の JGSS 研究センターまで、メールに添付して提出してください。説明のために別紙を追加していただいてもかまいません。

6. 受付期限及び提出先

■受付期間：2011 年 3 月～2012 年 12 月まで、毎月 25 日締切で審査

（第 1 回締切 2011 年 4 月 25 日，第 2 回締切 2011 年 5 月 25 日，……）

■提出先：〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商業大学 JGSS 研究センター

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

7. 選考方法と発表

JGSS 研究センターの運営委員会において審査を行います。審査結果は、各締切日の翌月 15 日までに応募者全員にお知らせします。

8. 採択者の義務および JGSS 研究センターからのサポート

■JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）になっていただく必要があります（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムの参加者となります）。

■センターで開催する研究会に参加いただき、分析の経過をご報告ください（旅費支給）。

■電子メールおよび研究会での情報共有や議論を通して、分析を進めるためのサポートを受けられます。

■学会等で研究成果を報告する際に、旅費の支給を受けられる場合があります（予算制限内で海外報告を含む）。

■センターの施設・設備が利用できます。

■最初の成果は、『JGSS 研究論文集』（毎年 3 月に刊行、1 月に原稿締切）にご執筆ください。論文集刊行までの間は、研究成果の発表は学会大会等での口頭報告に限り、他の雑誌等に当該研究課題の成果論文を掲載することはできません。

お問い合わせ：JGSS 研究センター（できるだけ電子メールにてお問い合わせください）

Tel : 06-6785-6013 / Fax : 06-6785-6011

E-mail : jgss@daishodai.ac.jp

http://jgss.daishodai.ac.jp

受付は終了しました。

分析研究課題の募集： JGSS-2009 ライフコース調査

A4判で以下の各項目が網羅されていれば、枠にはこだわらなくても構いません。また、必要に応じ、枚数が増えても結構です。応募用紙は、メール添付にて送付ください。(宛て先 jgss@daishodai.ac.jp)

氏名：	所属・職/学年：
連絡先住所：	
電話：	E-mail：
所属学会：	
研究課題（タイトル）	
想定する分析モデル（分析に必要な変数を明記）	
参照文献	
JGSS データの利用経験（EASS データを含む）	
これまでの社会調査の経験	